



## 五十肩の予防策学ぶ ～女性部大会～

JA女性部十和田支部は2月20日、本店で2018年度女性部大会を開きました。参加部員175人が、健康方法を学び、各分会が披露した歌や踊りを楽しみました。

基調講演では県立中央病院整形外科の佐藤英樹医師が「あなたの肩元気ですか?」をテーマに、五十肩の症状と予防策を解説。予防方法として「痛みが改善してから肩甲骨を動かし、前の方で腕を回すこと」とポイントを説明しました。

また、神奈川県横浜市で2月に開催した、全国家の光大会に出場した山崎澄子さん(三本木分会)が記事活用体験発表として『「家の光」から広がる「想い」の共鳴』をテーマに発表。アトラクションでは各分会のメンバーが豊年こいこい節やおこさ節など13曲の踊りや歌を発表し、日ごろの成果を披露しました。



▲佐藤医師から五十肩の予防策などを学ぶ



▲アトラクションで踊りを披露する女性部員

## ■ 山田さん(深持)十和田市農業賞受賞 ～ブランド力強化や若手育成に貢献～

十和田市深持の野菜農家、山田清徳さん(67)が、十和田市農業賞を受賞しました。長年当JAの野菜振興会役員として、ブランド野菜「十和田おいらせミニネラル野菜(TOM-VEGE)」の産地力強化と、若手育成に尽力したことなどが評価されました。

十和田市農業賞は、農業経営において、生産性の高さや経営改善の実践など地域農業の振興に貢献した個人や団体に贈られ、今年の受賞者は山田さん一人でした。

J A本店で2月7日、授与式が行われ、小山田久十和田市長より賞状と記念品が贈られました。



▲十和田市農業賞を受賞した山田さんと小山田市長

## ■ 女性部員がJA自己改革の理解深める ～部会総会で勉強会～

J A女性部藤坂分会は2月14日、藤坂支店で「JA自己改革」の勉強会を開きました。参加部員50人が、当JAの自己改革の具体的な取り組みについて理解を深めました。参加部員は「組合員のためにJAがどんなに頑張っているかが分かった」など感想を述べました。

講師を務めた、当JAの小林光浩専務は、種苗費助成などによって良品質生産や生産規模の維持・拡大に努めていること、担い手育成を強化していることなど25項目にわたって取り組みを説明。また、「農業振興やJA事業の発展には女性の力が重要では是非、正組合員に加入し、事業運営に参画して欲しい」と呼び掛けていました。



▲小林専務からJA自己改革を学ぶ女性部員



## 高額販売者を表彰 ～十和田市黒毛和種改良組合総会～

十和田市黒毛和種改良組合は2月21日、本店で総会を開き、組合員50人出席のもと、2018年度の実績報告と育種価の活用などを盛り込んだ新年度計画が承認されました。また、子牛市場で1頭100万円超えの高額販売者70人を紹介。代表して畠山廣志さん(切田)に賞状が贈られました。

同改良組合は昨年8月に開催された本県肉用牛共進会で初の団体優勝を受賞。本県家畜市場の雌牛と去勢牛の子牛価格で各月最高値賞には24頭のうち14頭が入賞を果たしました。和牛改良の面では市やJAの助成を受け、鳥取県から市場評価が高い「白鵬85の3」の血を継ぐ優良雌子牛を導入し農家所得の増大、和牛の産地づくりに取り組んでいます。



▲沢目政光改良組合長から表彰を受ける畠山さん

## 冬期営農教室

### 年間取扱高 前年比5千万円アップ ～トマト専門部会実績検討会～

J A野菜振興会トマト専門部会は2月7日、七戸町内で2018年産の実績検討会を開きました。本年産は出荷数量が前年よりやや減少したものの、単価高を要因に年間取扱高は前年比5千万円アップの約2.5億円でした。

検討会には生産農家40人が出席。本年産に向けては、健康な土づくりで品質・収量の向上を目指し、「TOM-VEGEトマト」の高品質と良食味を広くPRしていくことなどを確認しました。生産農家戸数は80戸、作付面積約12ha、10ha収量が高かった上位3農家を表彰しました。

**優良生産者表彰者** ( )内は10ha当たりの収量  
最優秀賞…倉岡亮子(11.3t)  
優秀賞……久保哲郎(10.5t)  
優良賞……野月いしみ(9.7t) 一敬称略



▲年金受給予定者の相談に応じる山岸社会保険労務士



▲品種の特性などを学ぶ生産者

J A自己改革(市場調査)  
指導やさい部／やさい販売課

日 程: 平成31年2月12日(火)～平成31年2月15日(金)  
参加者名: 十和田やさいセンター 細野 薫  
やさい販売課 川口耕司  
同 行 者: 全農あおもり大阪・名古屋・東京事務所  
訪問市場及び対応者: 関西・中京・関東地区 計13社

## ナガイモ、ニンニク、 ゴボウの高品質を評価

### 《ナガイモ》

昨年からの安値基調で推移し、1kg当りの平均単価は3,300円、1本売りでは298～398円、2kg売りで48～68円での販売となっています。一部の仲卸では北海道産より品質の高い青森県産への切り替えに進んでいるとのことでした。しかし、依然として北海道産の出荷量が豊富であるため、引き続き市場評価を注視して行かなければなりません。

### やさい販売要請報告

#### 《ゴボウ》

現在、土付きごぼうは青森県産中心、洗いごぼうは九州産(鹿児島・熊本)中心で販売されています。L規格1本売りで158～198円の相場。群馬県産は寒さの影響で生育遅れ、北海道産は積雪が少ない為に凍害が心配され、更に春掘りの残量が少ない見込み。現在も高値相場で推移しているが、青森県産の春掘り残量次第では更なる高値になる可能性があるとのこと。市場からは3月の早い時期からの出荷を求められました。

#### 《ニンニク》

現在の相場は、1kg当り平均単価は1,200円前後であり、平均価格は前年同期比500円程度安値で推移しています。11月よりM規格中心の販売を展開したためか、L規格への販売切り替えが進まなく販売が苦戦している状況にあります。一部業者は国産品からスペイン産への切り替えが更に進んでいるとのこと。市場からは3月までの品質管理、C A品(ガス冷)のスムーズな切り替えと4月以降の安定出荷を求められました。

## ダイコン洗浄選別施設を更新

ももいし支店野菜センターで進めていたダイコンの洗浄選別プラントの更新工事が完了し2月26日、引き渡しが行われました。処理能力は日量4,000ケース(1kg)と、今までに比べ10～20%のアップが期待できます。



### ナガイモのかき揚げ

#### 材料(1人分)

ナガイモ……… 30g  
アボカド……… 1/2個  
ニンジンの葉…… 適宜  
小麦粉……… 適宜  
天ぷら粉……… 適宜  
サラダ油など…… 適宜  
塩…………… 少々



#### 作り方

- ① ナガイモを短冊に、アボカドはさいころ状に切る。
- ② ボウルに①とニンジンの葉を入れ、小麦粉を軽くまぶす。
- ③ 水で溶いた天ぷら粉1/2カップほどで、②を軽く混ぜ合わせ一口大にまとめ、170度に熱した油で返しながらじっくりと揚げる。盛り付けたら塩を振る。盛り合わせにミニトマト(材料外)などを添える。

## 労力の軽減、産地の維持拡大へ対象農家に総額2千万円助成 ～作業機械(ニンニク)の導入助成、面積拡大分や優良種苗更新へ種苗費助成など～

### 2019年度 産地拡大対策事業の実施

#### ① 事業内容

##### (1) 労働力対策(作業機械費購入助成)【新規】

- ① 対象品目 ニンニク
- ② 対象作業機械 ニンニク植付機及びニンニク収穫機(1条掘りコンバイン型、又は4条引き抜き方式)
- ③ 助成上限金額 1戸当たり1台100万円(消費税別)
- ④ 事業費 1千万円(10台/年)
- ⑤ 対象期間 2019年4月1日～2019年12月30日購入分(2019～21年度までの3年間継続とする)
- ⑥ 助成要件
  - ア) 農産登録の実施及び導入後5ヵ年の作付計画書及び実績報告書の提出
  - イ) 5年後の栽培面積が概ね1ha以上であること
  - ウ) JA農機センターからの購入であること
  - エ) JA出荷実績(概ねJA平均単収以上)があり、導入後も出荷が見込まれること。



##### (2) ムカゴ種苗費助成【継続】

- ① 助成上限金額 購入ムカゴ1kg当り1,000円(税込み)
- ② 対象期間 2020年植付用
- ③ 助成要件
  - ア) JAより購入した優良ムカゴ種苗
  - イ) 標準出荷数量(2t/10ha)の8割以上の出荷があること

##### (3) 地区指定品目助成【継続】

- ① 地区指定品目 農産登録面積が過去3ヵ年の最大面積より増加した面積に対して基準種苗費の1/2を助成

###### ア) 品目別基準種苗費単価(税込み)

ゴボウ	9,000円/10ha	ニンジン	20,000円/10ha	インゲン	3,500円/10ha
ネギ	30,000円/10ha	馬鈴薯	25,000円/10ha	一球入魂かぼちゃ	20,000円/10ha
ダイコン	15,000円/10ha	春菊	15,000円/10ha	イチゴ	30,000円/10ha

###### イ) 支店・事業所別指定品目

支店・事業所名	2019年度 指定品目	支店・事業所名	2019年度 指定品目
大深内支店	ネギ・ゴボウ	上北支店	ゴボウ・ニンジン
藤坂支店	ネギ・ゴボウ	十和田湖支店	ネギ・春菊
三本木事業所	ネギ・ゴボウ	七戸支店	ネギ・インゲン
ももいし支店	ニンジン・ゴボウ	横浜町支店	馬鈴薯・ゴボウ
下田支店	ダイコン・ゴボウ	むつ支店	イチゴ・一球入魂かぼちゃ

##### (4) 健康な土づくり助成(土壤診断料の一部助成)【継続】

- ① 助成上限金額 500円(消費税別)
- ② 助成要件 2019年度に当JAで土壤診断を実施
- ③ 対象期間 2019年4月1日～2020年1月31日受付分



##### (5) その他

- ① 助成対象者は当JA組合員。
- ② 国・県・市町村及びJA等から助成を受ける場合は、JA助成上限金額との差額を助成する。

#### ② 事業費 2千万円(税別)

※産地拡大事業に関するお問い合わせ等は、指導やさい部(0176-23-0339)、各支店の営農担当まで。



組合員のみなさまに、JA常勤役員を身近に感じてもらうコーナーです！

## 「食料輸入は飢餓の輸出」

我が国の食料自給率は38%と、先進国最低を更新中である。国民の命を守る、つまりは食を守るのは国としての最低限の仕事。にもかかわらず、我が国の政府・多くの国会議員は食料自給率の向上に関心なく、具体的な対策を行ってこない。

政府の言い訳は、「日本は輸出産業を強化することで経済力を高め、食料を輸入することが国益となる」「経済効率の悪い農業に投資するよりも、安い海外の農産物を買った方が経済効率いい」という経済優先主義の考え方。そこには、「人口増加にある地球環境を守る」「地球規模で持続可能な産業に切り替える」「増加し続ける世界中の飢餓人口(2017年8億2,100万人)の食料を奪わない」など、先進国としての責任ある取り組みがない。世界からの食料輸入は世界への飢餓を輸出していること。

我が政府は、農業や食料を工業製品と同等に見ている。日本農業が悪いのは農業者や農協が悪いからで、企業のように生産性・効率性・収益性を確保する経営能力が求められる。これからは農業を成長産業にするために企業意識・企業家を入れる。こうした考えは、世界の先進国における農業支援の助成政策・農業所得補償政策・食料自給向上政策を無視した、日本だけがよければいいという利己主義的な考え方である。

農業の価値は、「日本人の命の基である食料を生産している価値」「国土保全などの国民のためになる多面的な価値」「地方・地域・農村社会を守る価値」などの社会的価値があることを、農業者の組織である農協は国民に対して訴え続けなければならない。

代表理事専務 小林 光浩

## 編集者の日和日記

弥生3月、草木が生い茂る季節を迎え、管内も早いところでは種まき作業が始まりました。農家の方々が一番気になることは「今年の天気の行方」。自然災害、不順天候が顕著とされる昨今、確かに季節が前倒しになっていることを体でも感じます。県南地方の春の雪「ひがんじやらく」が降って、管内は本当の春を迎えます。農家の方々にとって良いスタートとなるよう、心から祈ります。T

## 「地域貢献」見える化 ～本店1階ロビーに掲示～

より多くの農家組合員、地域住民の方々に当JAの取り組みを知ってもらうため、本店ロビーに「地域の活性化(貢献)」を紹介する掲示コーナーを設けました。ご来店の際には是非、ご覧ください。



J A十和田おいらせは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化(地域貢献)」の3つの基本目標を掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます！

J Aの自己改革に関する組合員アンケート調査を実施中です。J A職員が訪問の際には、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**農業応援金融商品**  
**金融部 JAマイカー・教育ローン** 期間:2019年4月30日(火)まで

## プレゼントキャンペーン

期間中、新規でマイカー・教育ローンのいずれかをご契約のお客さまに、**AコースまたはBコースの青森県産品をプレゼント!**



詳しくは、本支店の金融窓口へお問い合わせください。

## 理事会だより(第11回:2月27日)

▶2019年度 産地拡大対策事業の実施について承認する→P10参照  
一ほか

### 報告事項

▶内部監査の結果について

▶職員の異動について

### 【正職員】

新任	旧任
総務部 総務課付 野月 和美	大深内支店 金融共済課(LA)

お疲れさまでした 2月28日付

沼村 慶紀 指導やさい部 やさい販売課 一ほか

**●監事會だより(第11回)** 理事会終了後、本店2階 常勤監事室・監査課で実施

▶議案第1号  
▶2018年度上半期定期監査結果  
「3.その他改善を要する事項」に対する回答について 一ほか

## 献血の協力で地域貢献

2018年度の十和田市献血功労者感謝状贈呈式が2月21日、十和田市役所で行われ、当JAが表彰を受けました。十和田市における献血運動の推進に積極的に協力した団体等に贈られるもので、当JAを含む2団体に贈られました。



▲小山田十和田市長(写真中央)から感謝状を受け取った当JAの小林光浩専務(写真左)と(株)ユニバース十和田東店の蛭名洋司店長

JAグループの子会社は、JAが100%出資し、専門的事業を行っています。



### (株)協同サービス

主な事業内容 葬祭業、生花部(フラワーハウスあぐり館)、酒類販売部(酒の藤坂店)  
十和田地域広域斎苑指定管理

### ◎キャンドル作りに挑戦

(株)協同サービスは2月6日、まごころホール駒街道でキャンドル教室を開きました。参加者8人が、約1時間かけて動物や花などに形づくるキャンドルを手作りしました。参加者は細かい作業に苦戦しながらも、完成させると満足した表情を見せ楽しんだ様子でした。



### ◎次回の創作キャンドル教室は 4月9日(火)17:30~

参加費:無料 場所:まごころホール駒街道(JA本店隣り)

お申込み、お問い合わせは協同サービスまで TEL.0176-21-1500 住所:十和田市西十三番町4-33

### (株)エコー

主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理  
福祉事業、旅行事業 など

### JA-SSご利用者感謝キャンペーン開催!

期間 3月14日(木)~3月19日(火) 6日間

ガソリン・軽油2,000円以上給油で、卵(10個入り)1パックプレゼント!

※配達は含みませんので、ご了承下さい。又、景品がなくなり次第終了となります。

お問い合わせ先…(株)エコー TEL.0176-25-1601

### 期間中、ガソリン・軽油を特価で販売します!

三本木SS・大深内SS・藤坂SS・八郷SS・十和田湖SS

ももいしSS・木ノ下SS・上北SS・七戸SS・むつSS



### 2月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種)／開催日:2019年2月8日

[当JA管内]

(金額:千円)

販売金額 種雄牛	雌			去勢			販売金額 地区	雌			去勢				
	上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均		頭数	平均価格 (千円)	平均体重 (kg)	平均日齢 (日)	頭数	平均価格 (千円)	平均体重 (kg)	平均日齢 (日)
第1花国	8	596	493	15	962	724	十和田地区	37	664	289	304	62	842	325	297
勝早桜5	9	947	701	8	1,023	859	十和田湖地区	13	720	301	312	27	765	316	303
幸紀雄	5	798	712	11	1,177	871	むつ地区	11	694	306	298	23	808	342	305
美國桜	7	1,103	806	7	1,033	867	青森県全体	221	625	292	306	329	736	323	299
美津照重	4	718	623	9	872	730		計	33	-	50	-			

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分

※5種混合ワクチン及び、キャトルワイン5HSの接種が上場条件。

4月市場開催日／2019年4月12日(金)



(金額:千円)